

【 保険薬局A： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |       |
|-----------------|-----------|----|--------|-------|
| 処方せん枚数          | 約 2,700 枚 | 職員 | 薬剤師    | 1～5 人 |
| 週平均営業日数         | 6 日       |    | 事務職員   | 1～5 人 |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 1.5億円   |    | その他の職員 | 0 人   |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 外部の研修会に積極的に参加している。
- ・ 調剤鑑査のために量をチェックするシステムを導入。この使い方については、独自の使用方法マニュアルを用意している。
- ・ 薬品名・量チェックシステム導入後には、調剤鑑査のためのミスが激減した。また受発注も県薬剤師会で作成したネットワークを用いる等、IT化を進めることによって、周辺に医療機関が増え、患者数が増えたにもかかわらず、人員を大幅増強することなく、対応することができた。
- ・ レセプトとの突き合わせの簡素化のために、近隣の医療機関に QR コードを導入してもらった。
- ・ 服薬指導の場でも、窓口パソコンを1ブースごとに1台設置し、最新の情報を提供するようにしている。
- ・ 県薬剤師会が共同で開発したインターネット上の受発注システムを利用することにより、在庫管理等が迅速に行うことができる。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名       |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-----------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|           |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資      | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 108            | 368          | ・            | 368         |
|           | 安全管理に係る研修         | 78             | 251          | -            | 251         |
| 設備        | 調剤業務に関する機器・設備等    | ・              | ・            | 24           | 24          |
|           | 医薬品等の安全管理         | 200            | 655          | -            | 655         |
|           | 副作用防止に関する機器・設備等   | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 感染制御及び無菌製剤        | ・              | ・            | 14           | 14          |
| その他       | インシデント/アクシデントレポート | 2              | 5            | -            | 5           |
|           | 職業感染防止対策          | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 賠償責任保険            | ・              | ・            | 16           | 16          |
| 合計        |                   | 387            | 1,279        | 54           | 1,333       |
| 職員1人当たり費用 |                   | ・              | 213          | 9            | 222         |
| 営業収入割合    |                   | ・              | 0.9%         | 0.0%         | 0.9%        |

注) “・” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT機器(導入費用) |       |
|--------|------|------|---------|------|------------|-------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費        | リース料  |
| 人件費    | -    | -    | -       | -    | ・          | ・     |
| 物件費    | -    | -    | -       | -    | 2,800      | 1,061 |
| 合計     | -    | -    | -       | -    | 2,800      | 1,061 |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.0%    | 0.0% | 1.9%       | 0.7%  |

【 保険薬局 B： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |       |
|-----------------|-----------|----|--------|-------|
| 処方せん枚数          | 約 1,300 枚 | 職員 | 薬剤師    | 1～5 人 |
| 週平均営業日数         | 6 日       |    | 事務職員   | 1～5 人 |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 2.9億円   |    | その他の職員 | 0 人   |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 薬局の管理者が安全管理の責任者になっている。
- ・ 外部の研修会に積極的に参加している。
- ・ インシデントレポートの作成には 1999 年から取り組んでいる。
- ・ 散剤については、鑑査システムを用いて秤量を行い、かつ目視で異物混入をチェックしている。
- ・ 薬歴はシステムを用いて管理している。
- ・ 医療機関への疑義照会だけではなく、医療機関から投与量の問い合わせ等を受けている。
- ・ 事故防止のために、色つけなどをしての一包化を行っている。また、時間内以外にも休日夜間の時間外の電話受付等を行うために、携帯情報端末を導入している。
- ・ 糖尿病の患者が多いため、低血糖時の糖尿病薬、インスリンの保管・混和方法については特に注意を払って指導している。
- ・ レセコンを導入し、対象患者の抽出を行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名       |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-----------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|           |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資      | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 38             | 118          | ・            | 118         |
|           | 安全管理に係る研修         | 40             | 125          | 206          | 331         |
| 設備        | 調剤業務に関する機器・設備等    | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 医薬品等の安全管理         | 34             | 111          | -            | 111         |
|           | 副作用防止に関する機器・設備等   | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 感染制御及び無菌製剤        | ・              | ・            | 12           | 12          |
| その他       | インシデント/アクシデントレポート | -              | -            | -            | -           |
|           | 職業感染防止対策          | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 賠償責任保険            | ・              | ・            | 10           | 10          |
| 合計        |                   | 112            | 353          | 228          | 581         |
| 職員1人当たり費用 |                   | ・              | 71           | 46           | 116         |
| 営業収入割合    |                   | ・              | 0.1%         | 0.1%         | 0.2%        |

注) “・” 該当データがないありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT機器(導入費用) |      |
|--------|------|------|---------|------|------------|------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費        | リース料 |
| 人件費    | -    | -    | 20      | 20   | ・          | ・    |
| 物件費    | -    | -    | 18      | 18   | 8,952      | 350  |
| 合計     | -    | -    | 38      | 38   | 8,952      | 350  |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.0%    | 0.0% | 3.1%       | 0.1% |

【 保険薬局 C： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |       |
|-----------------|-----------|----|--------|-------|
| 処方せん枚数          | 約 2,200 枚 | 職員 | 薬剤師    | 1～5 人 |
| 週平均営業日数         | 6 日       |    | 事務職員   | 1～5 人 |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 1.8億円   |    | その他の職員 | 0 人   |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 管理薬剤師以外に安全管理推進者の薬剤師が任命されている。
- ・ インシデント・アクシデントレポートは県薬剤師会で作成した書式を用いている。なお、作成結果は、県の薬剤師会インシデント事例報告モデル事業で報告している。
- ・ 鑑査システムで秤取、分包偏差を行っている。水剤の瓶には内容を記載したラベルを用いて、調剤ミスを防ぐようにしている。
- ・ 事故防止に向けた機能連携として医療機関への疑義照会については 1990 年頃から取り組んでおり、一包化、開局時間内における問い合わせ対応にも取り組んでいる。また 2002 年からは休日・夜間における電話転送を行い、患者からの問い合わせに対応している。
- ・ リウマトレックス、ティーエスワン等の抗がん剤に関する服薬指導、インスリン注射の使用方法、用量に関する指導を行うようにしている。
- ・ 個人情報保護のためにシュレッターを導入している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名       |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-----------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|           |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資      | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 92             | 308          | .            | 308         |
|           | 安全管理に係る研修         | 15             | 55           | 127          | 182         |
| 設備        | 調剤業務に関する機器・設備等    | .              | .            | 600          | 600         |
|           | 医薬品等の安全管理         | 25             | 83           | 59           | 142         |
|           | 副作用防止に関する機器・設備等   | .              | .            | 1            | 1           |
|           | 感染制御及び無菌製剤        | .              | .            | 11           | 11          |
| その他       | インシデント/アクシデントレポート | 3              | 11           | -            | 11          |
|           | 職業感染防止対策          | .              | .            | 12           | 12          |
|           | 賠償責任保険            | .              | .            | 12           | 12          |
| 合計        |                   | 135            | 457          | 822          | 1,279       |
| 職員1人当たり費用 |                   | .              | 51           | 91           | 142         |
| 営業収入割合    |                   | .              | 0.3%         | 0.5%         | 0.7%        |

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT機器(導入費用) |      |
|--------|------|------|---------|------|------------|------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費        | リース料 |
| 人件費    | -    | -    | 34      | 14   | .          | .    |
| 物件費    | -    | -    | 2       | 1    | 1,000      | 522  |
| 合計     | -    | -    | 36      | 15   | 1,000      | 522  |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.0%    | 0.0% | 0.6%       | 0.3% |

【 保険薬局 D： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |        |
|-----------------|-----------|----|--------|--------|
| 処方せん枚数          | 約 2,900 枚 | 職員 | 薬剤師    | 6~10 人 |
| 週平均営業日数         | 6 日       |    | 事務職員   | 1~5 人  |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 3.0 億円  |    | その他の職員 | 0 人    |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 薬品名・量をチェックする鑑査システムを 2005 年に導入。
- ・ 散剤、水剤についても鑑査システムを用いて合計量の確認等を行っている。特に散剤については、分包偏差の確認のために一包目、中間、最終量の確認を行っている。
- ・ 小児投与量について、医療機関に照会をしている。逆に医療機関から照会を受けることもある。
- ・ 時間外（休日・夜間）についても電話で患者からの問い合わせに対応している。
- ・ 薬歴の服薬カレンダーをもとに、コンプライアンスや処方間隔のチェックを行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名       |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-----------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|           |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資      | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 99             | 277          | ・            | 277         |
|           | 安全管理に係る研修         | 32             | 80           | 12           | 92          |
| 設備        | 調剤業務に関する機器・設備等    | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 医薬品等の安全管理         | 110            | 360          | 5            | 365         |
|           | 副作用防止に関する機器・設備等   | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 感染制御及び無菌製剤        | ・              | ・            | -            | -           |
| その他       | インシデント/アクシデントレポート | 95             | 319          | -            | 319         |
|           | 職業感染防止対策          | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 賠償責任保険            | ・              | ・            | 4            | 4           |
| 合計        |                   | 336            | 1,037        | 21           | 1,058       |
| 職員1人当たり費用 |                   | ・              | 94           | 2            | 96          |
| 営業収入割合    |                   | ・              | 0.3%         | 0.0%         | 0.4%        |

注) “・” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT機器(導入費用) |      |
|--------|------|------|---------|------|------------|------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費        | リース料 |
| 人件費    | -    | -    | 51      | 24   | ・          | ・    |
| 物件費    | -    | -    | 3       | 3    | 4,310      | 309  |
| 合計     | -    | -    | 54      | 27   | 4,310      | 309  |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.0%    | 0.0% | 1.4%       | 0.1% |

【 保険薬局 E： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |       |
|-----------------|-----------|----|--------|-------|
| 処方せん枚数          | 約 1,600 枚 | 職員 | 薬剤師    | 1～5 人 |
| 週平均営業日数         | 6 日       |    | 事務職員   | 1～5 人 |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 1.1 億円  |    | その他の職員 | 0 人   |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 施設の管理者が安全管理の責任者となっている。
- ・ 医療安全の内容も含めた外部研修に積極的に参加している。
- ・ 2003 年からインシデント・アクシデントレポートの作成、分析に取り組んでいる。
- ・ 処方せん・薬歴に基づき、品目・数量・薬袋のチェックを行っている。また、電子薬歴データベースに基づく相互作用チェック、異物混入の目視確認も行っている。
- ・ 散・水剤については、秤量品の記録、ばらつき確認のために再秤量を行うこともある。
- ・ 県薬剤師会が共同で開発したインターネット上の受発注システムを利用することにより、在庫管理等が迅速に行うことができる。
- ・ 特定の薬剤等については、投薬カレンダーの貸し出しや電子薬歴による服薬状況の確認を行っている。
- ・ 同一法人内で安全管理強化月間が年 2 回開催されている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名         |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-------------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|             |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資        | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 72             | 190          | .            | 190         |
|             | 安全管理に係る研修         | 27             | 93           | 220          | 313         |
| 設備          | 調剤業務に関する機器・設備等    | .              | .            | -            | -           |
|             | 医薬品等の安全管理         | 126            | 427          | 10           | 437         |
|             | 副作用防止に関する機器・設備等   | .              | .            | -            | -           |
|             | 感染制御及び無菌製剤        | .              | .            | 4            | 4           |
| その他         | インシデント/アクシデントレポート | 4              | 13           | -            | 13          |
|             | 職業感染防止対策          | .              | .            | 20           | 20          |
|             | 賠償責任保険            | .              | .            | 5            | 5           |
| 合計          |                   | 229            | 723          | 259          | 982         |
| 職員 1 人当たり費用 |                   | .              | 161          | 58           | 218         |
| 営業収入割合      |                   | .              | 0.7%         | 0.2%         | 0.9%        |

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT 機器(導入費用) |      |
|--------|------|------|---------|------|-------------|------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費         | リース料 |
| 人件費    | -    | -    | 41      | 5    | .           | .    |
| 物件費    | -    | -    | 21      | 5    | 5,170       | 315  |
| 合計     | -    | -    | 62      | 10   | 5,170       | 315  |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.1%    | 0.0% | 4.9%        | 0.3% |

【 保険薬局 F： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |        |
|-----------------|-----------|----|--------|--------|
| 処方せん枚数          | 約 4,200 枚 | 職員 | 薬剤師    | 6～10 人 |
| 週平均営業日数         | 6 日       |    | 事務職員   | 1～5 人  |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 3.6 億円  |    | その他の職員 | 0 人    |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 内部研修としては「業務過誤防止研修会」、外部研修としては「調剤過誤防止研修会（新人研修）」を実施している。
- ・ 鑑査は、過去の薬歴との鑑査、処方内容の鑑査、調剤内容の鑑査を実施している。
- ・ 散水剤調剤については、散剤計算メモの作成、散剤鑑査システムからの秤量記録しとの突合、分包誤差、異物混入の確認を行っている。
- ・ 在庫管理ソフト、JAN コードを利用した発注システム、自動入庫システムを導入している。
- ・ 麻薬の管理服薬指導を実施している。
- ・ 在宅自己注射に関しては注射器使用方法指導、用法・用量の指導を行っている。
- ・ 副作用防止のために、光回線インターネットによる情報収集、レセプトコンピューターによる該当患者の検索を行っている。
- ・ クリーンベンチを整備している。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名       |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-----------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|           |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資      | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 32             | 86           | ・            | 86          |
|           | 安全管理に係る研修         | 54             | 141          | 270          | 411         |
| 設備        | 調剤業務に関する機器・設備等    | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 医薬品等の安全管理         | 248            | 833          | 53           | 886         |
|           | 副作用防止に関する機器・設備等   | ・              | ・            | -            | -           |
|           | 感染制御及び無菌製剤        | ・              | ・            | 1,959        | 1,959       |
| その他       | インシデント／アクシデントレポート | 3              | 12           | -            | 12          |
|           | 職業感染防止対策          | ・              | ・            | 13           | 13          |
|           | 賠償責任保険            | ・              | ・            | 20           | 20          |
| 合計        |                   | 337            | 1,071        | 2,314        | 3,386       |
| 職員1人当たり費用 |                   | ・              | 86           | 185          | 271         |
| 営業収入割合    |                   | ・              | 0.3%         | 0.7%         | 1.0%        |

注) “・” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT機器(導入費用) |       |
|--------|------|------|---------|------|------------|-------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費        | リース料  |
| 人件費    | -    | -    | 66      | 10   | ・          | ・     |
| 物件費    | -    | -    | 59      | 37   | 9,240      | 2,076 |
| 合計     | -    | -    | 125     | 47   | 9,240      | 2,076 |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.0%    | 0.0% | 2.6%       | 0.6%  |

【 保険薬局 G： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |        |
|-----------------|-----------|----|--------|--------|
| 処方せん枚数          | 約 1,900 枚 | 職員 | 薬剤師    | 1～5 人  |
| 週平均営業日数         | 5 日       |    | 事務職員   | 6～10 人 |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 2.8 億円  |    | その他の職員 | 1～5 人  |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 管理薬剤師が、安全管理責任者に位置づけられている。
- ・ 発生しない日も含め、薬局内で起きたヒヤリ・ハット事例の報告を毎日行っている。
- ・ インシデントレポートの作成は 2003 年から開始し、2004 年のヒヤリハットレポートは 20 件。
- ・ マニュアルは薬局調剤内規の他、インシデントレポートマニュアル、薬品情報カード、PHRM-2E（個別調剤事故分析ツール）作成マニュアルを整理している。
- ・ 散剤の鑑査には散剤鑑査システムを導入している。
- ・ 水剤の鑑査には水剤確認調剤スタンプ、混合総量と 1 日服用量確認を行っている。
- ・ 抗がん剤、抗リウマチ薬は、休薬期間の管理を行っている。
- ・ 副作用防止のために、インターネットによる情報収集、レセプトコンピューターによる該当患者の検索を行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名         |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-------------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|             |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資        | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 525            | 1,394        | ・            | 1,394       |
|             | 安全管理に係る研修         | 26             | 83           | 142          | 225         |
| 設備          | 調剤業務に関する機器・設備等    | ・              | ・            | -            | -           |
|             | 医薬品等の安全管理         | 82             | 270          | 16           | 286         |
|             | 副作用防止に関する機器・設備等   | ・              | ・            | -            | -           |
|             | 感染制御及び無菌製剤        | ・              | ・            | 31           | 31          |
| その他         | インシデント／アクシデントレポート | 11             | 38           | -            | 38          |
|             | 職業感染防止対策          | ・              | ・            | 132          | 132         |
|             | 賠償責任保険            | ・              | ・            | 14           | 14          |
| 合計          |                   | 645            | 1,786        | 335          | 2,121       |
| 職員 1 人当たり費用 |                   | ・              | 149          | 28           | 177         |
| 営業収入割合      |                   | ・              | 0.6%         | 0.1%         | 0.8%        |

注) “・” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT機器(導入費用) |      |
|--------|------|------|---------|------|------------|------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費        | リース料 |
| 人件費    | -    | -    | 77      | 23   | ・          | ・    |
| 物件費    | -    | -    | 14      | 4    | 650        | 811  |
| 合計     | -    | -    | 91      | 27   | 650        | 811  |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.0%    | 0.0% | 0.2%       | 0.3% |

【 保険薬局 H： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |       |
|-----------------|-----------|----|--------|-------|
| 処方せん枚数          | 約 1,600 枚 | 職員 | 薬剤師    | 1～5 人 |
| 週平均営業日数         | 6 日       |    | 事務職員   | 1～5 人 |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 1.6 億円  |    | その他の職員 | 0 人   |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ インシデントレポートを作成しており、報告件数は 20 件であった。
- ・ マニュアルは調剤事故防止マニュアル、薬局調剤内規の他、調剤事故発生時対応マニュアル、小児薬用量リストを作成している。
- ・ 調剤事故防止のために、①液剤鑑査システム、②散剤鑑査システム、③電子薬歴システム、④電子自動分割分包機を導入している。
- ・ 散剤・液剤は鑑査システムの記録と処方せんにより薬剤と計量値の確認を行い、さらに目視により異物混入検査を行っている。
- ・ 抗がん剤、ステロイド剤、向精神薬などの服用状況を電子薬歴簿で把握している。
- ・ 副作用防止のため、インターネットで情報収集し、該当患者への連絡の確認を行っている。
- ・ 感染性疾患患者のための隔離待合室を設置している
- ・ 調剤室および待合室にクリーンシステムを導入している

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名         |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-------------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|             |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資        | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 72             | 211          | ・            | 211         |
|             | 安全管理に係る研修         | 32             | 117          | 306          | 423         |
| 設備          | 調剤業務に関する機器・設備等    | ・              | ・            | 672          | 672         |
|             | 医薬品等の安全管理         | 301            | 1,020        | 85           | 1,105       |
|             | 副作用防止に関する機器・設備等   | ・              | ・            | －            | －           |
|             | 感染制御及び無菌製剤        | ・              | ・            | 268          | 268         |
| その他         | インシデント／アクシデントレポート | 20             | 68           | －            | 68          |
|             | 職業感染防止対策          | ・              | ・            | 12           | 12          |
|             | 賠償責任保険            | ・              | ・            | 11           | 11          |
| 合計          |                   | 425            | 1,416        | 1,354        | 2,770       |
| 職員 1 人当たり費用 |                   | ・              | 354          | 338          | 693         |
| 営業収入割合      |                   | ・              | 0.9%         | 0.8%         | 1.7%        |

注) “・” 該当データがない・ありえない、“－” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT機器(導入費用) |       |
|--------|------|------|---------|------|------------|-------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費        | リース料  |
| 人件費    | －    | －    | 102     | －    | ・          | ・     |
| 物件費    | －    | －    | 90      | －    | 226        | 3,204 |
| 合計     | －    | －    | 192     | －    | 226        | 3,204 |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.1%    | 0.0% | 0.1%       | 2.0%  |

【 保険薬局 I： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |         |
|-----------------|-----------|----|--------|---------|
| 処方せん枚数          | 約 7,700 枚 | 職員 | 薬剤師    | 11～15 人 |
| 週平均営業日数         | 7 日       |    | 事務職員   | 1～5 人   |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 9.9億円   |    | その他の職員 | 1～5 人   |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 大病院に隣接する保険薬局。週 7 日営業。
- ・ 同一法人の他店舗共通での内部研修も含めて、多くの研修の機会がある。
- ・ インシデントレポートはデータベース登録されている。
- ・ 医療機関側の要望に応じ、インシデントレポートの内容について報告することもあった。
- ・ 医療安全に係るマニュアルは多種が用意されている。
- ・ 同一法人で独自に開発した総合処方システム、散剤鑑査システム、計数調剤システム等を用いて調剤鑑査を行っている。クリーンベンチは 2 台導入している。
- ・ ドラッグテレフォンを設け、患者からの内容照会に対応する体制を整えている。
- ・ 疼痛治療に使用する麻薬やインスリン自己注射に関しては特に時間をかけて服薬指導を実施している。
- ・ 受付で患者への投薬内容についてのチェックを行っている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名         |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-------------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|             |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資        | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 117            | 343          | ・            | 343         |
|             | 安全管理に係る研修         | 165            | 451          | 6            | 457         |
| 設備          | 調剤業務に関する機器・設備等    | ・              | ・            | -            | -           |
|             | 医薬品等の安全管理         | 71             | 242          | 450          | 692         |
|             | 副作用防止に関する機器・設備等   | ・              | ・            | -            | -           |
|             | 感染制御及び無菌製剤        | ・              | ・            | 558          | 558         |
| その他         | インシデント/アクシデントレポート | 70             | 237          | -            | 237         |
|             | 職業感染防止対策          | ・              | ・            | -            | -           |
|             | 賠償責任保険            | ・              | ・            | 4            | 4           |
| 合計          |                   | 423            | 1,273        | 1,018        | 2,291       |
| 職員 1 人当たり費用 |                   | ・              | 61           | 48           | 109         |
| 営業収入割合      |                   | ・              | 0.1%         | 0.1%         | 0.2%        |

注) “・” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT機器(導入費用) |      |
|--------|------|------|---------|------|------------|------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費        | リース料 |
| 人件費    | -    | -    | 37      | -    | ・          | ・    |
| 物件費    | -    | -    | 165     | -    | 10,800     | 800  |
| 合計     | -    | -    | 202     | -    | 10,800     | 800  |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.0%    | 0.0% | 1.1%       | 0.1% |

【 保険薬局 J： 基本情報（平成 16 年 6 月の状況） 】

|                 |           |    |        |       |
|-----------------|-----------|----|--------|-------|
| 処方せん枚数          | 約 1,100 枚 | 職員 | 薬剤師    | 1～5 人 |
| 週平均営業日数         | 5 日       |    | 事務職員   | 1～5 人 |
| 営業収入(平成16年度1年間) | 約 0.6億円   |    | その他の職員 | 0 人   |

【 医療安全に関する取り組み状況 】

- ・ 薬品名・量を電子的に鑑査するシステムの導入により、ミスが減少した。
- ・ 散剤用に集塵機能付き調剤台を導入している。
- ・ 近隣の小児科から小児投与量についての問い合わせが非常に多く（月 800 件程度）、医療機関への問い合わせの件数（月 60 件程度）を大きく上回っている。
- ・ 向精神薬、入眠剤、リウマトレックス等について、電子薬歴の服薬カレンダーでコンプライアンス、処方間隔のチェックを行っている。
- ・ 県薬剤師会が共同で開発したインターネット上の受発注システムを利用することにより、在庫管理等が迅速に行うことができる。
- ・ 小児科が隣接しているため、隠圧の隔離待合室を設けている。

【 医療安全の取り組みに係る費用（平成 16 年度 1 年間） 】

| 項目名       |                   | 年間費用           |              |              |             |
|-----------|-------------------|----------------|--------------|--------------|-------------|
|           |                   | 人員の投入量<br>[人時] | ①人件費<br>[千円] | ②物件費<br>[千円] | ①+②<br>[千円] |
| 人的投資      | 委員会・会合・打ち合わせ等     | 40             | 106          | .            | 106         |
|           | 安全管理に係る研修         | 40             | 125          | 208          | 333         |
| 設備        | 調剤業務に関する機器・設備等    | .              | .            | -            | -           |
|           | 医薬品等の安全管理         | 19             | 64           | 28           | 92          |
|           | 副作用防止に関する機器・設備等   | .              | .            | -            | -           |
|           | 感染制御及び無菌製剤        | .              | .            | 3            | 3           |
| その他       | インシデント／アクシデントレポート | 2              | 7            | -            | 7           |
|           | 職業感染防止対策          | .              | .            | 30           | 30          |
|           | 賠償責任保険            | .              | .            | 7            | 7           |
| 合計        |                   | 101            | 301          | 276          | 577         |
| 職員1人当たり費用 |                   | .              | 75           | 69           | 144         |
| 営業収入割合    |                   | .              | 0.5%         | 0.4%         | 0.9%        |

注) “.” 該当データがない・ありえない、“-” ゼロ、“0” 値が小さいがゼロではない。

(別掲) ※外部評価、マニュアル作成、IT 機器のコストは年間費用に含まれていない。

|        | 外部評価 |      | マニュアル作成 |      | IT機器(導入費用) |      |
|--------|------|------|---------|------|------------|------|
|        | 新規受審 | 更新受審 | 新規作成    | 更新   | 購入費        | リース料 |
| 人件費    | -    | -    | 1       | -    | .          | .    |
| その他    | -    | -    | 14      | 1    | 640        | 79   |
| 合計     | -    | -    | 15      | 1    | 640        | 79   |
| 営業収入割合 | 0.0% | 0.0% | 0.0%    | 0.0% | 1.0%       | 0.1% |

## 5. ヒアリング調査の結果

ヒアリング内容をまとめたものを以下に示す。

| (1) 大病院と共通していると思われる取り組みについて |  |
|-----------------------------|--|
| 病院（300床未満）                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1回安全管理委員会の開催など組織的に対応</li> <li>・ 全日病等の情報をフィードバック</li> <li>・ 病棟に薬剤師を配置している</li> <li>・ 全看護職員に対する院内研修、新入看護職に対するオリエンテーション</li> <li>・ 職員研修を年2回以上実施（看護部では別途研修も実施）</li> <li>・ IT化・バーコード管理の推進</li> <li>・ インシデント・アクシデントレポートの原因研明、再発防止策の検討</li> <li>・ マニュアル（病院全体・各診療科）の作成、更新</li> <li>・ 患者満足度調査の実施</li> </ul> |
| 一般診療所（有床）                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全に関する病内の実施・院外研修への参加</li> <li>・ インシデントレポート（分析・対策検討）</li> <li>・ 安全管理、感染制御、医薬品安全使用に関するマニュアルの整備</li> </ul>   |
| 一般診療所（無床）                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全教育、外部研修受講</li> <li>・ マニュアルの整備</li> <li>・ 感染症対策（機器洗浄）</li> </ul>   |
| 歯科診療所                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会の開催、外部講習会への参加</li> <li>・ 滅菌の厳守と感染物の取扱いへの注意の徹底</li> <li>・ 患者対応（誘導等）の教育</li> <li>・ マニュアル作成（または、歯科医師会作成のマニュアルを使用）</li> </ul>  |
| 保険薬局                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理責任者の任命とそのルーチンワークの確立</li> <li>・ 研修会への参加</li> <li>・ IT化によるヒューマンエラー対策</li> <li>・ ITシステムによる薬歴管理</li> <li>・ 医薬品情報の入手方法の確立</li> <li>・ インシデントレポート作成・報告体制</li> <li>・ 調剤内視、特に注意を要する医薬品の識別や管理上の工夫</li> <li>・ 抗生物質や小児用薬剤の換算表や用量一覧表の作成</li> </ul>   |

| (2) 取り組みの特徴について |  |
|-----------------|--|
| 病院（300床未満）      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織横断的に活動できるマネージャを配置</li> <li>・ 規模が小さいので、問題発生後の対処を素早く行うことができる</li> <li>・ 定期的な看護度調査による看護要員配置数の見直し</li> <li>・ 患者家族との協力体制、事故防止参加依頼</li> </ul>   |
| 一般診療所（有床）       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員全員が何らかの担当者となっており、責任感をもち自主的に行動</li> <li>・ 安全意識の共有化、意識統一が図りやすい</li> <li>・ 意思決定が速く、全職員への伝達も早くできる</li> <li>・ コミュニケーションが密であり、誤りがあつた場合に発見しやすい</li> </ul>                              |
| 一般診療所（無床）       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日々のコミュニケーションや打ち合わせで対応</li> <li>・ 受付スタッフの変動が少ないので意思疎通がスムーズ</li> </ul>  |
| 歯科診療所           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全スタッフが参加する会議を頻繁に開催</li> <li>・ 診療を通じての感染対策教育・安全教育</li> <li>・ スタンダード・プリコーション（標準予防策）の徹底</li> <li>・ HIV、C型肝炎などの感染防止対策を全スタッフにレクチャー</li> <li>・ 院内感染防止対策として、洗浄水など他数ヶ所を年4回定点観測</li> </ul> |
| 保険薬局            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の薬剤師同士の会話から改善点を発見し、その場で解決可能</li> <li>・ 患者個人の情報などについて詳細な申し送りが可能</li> <li>・ 医療機関ごとに特徴的な薬剤は、施設ごとに分別管理</li> <li>・ 同一銘柄の複数規格を独自のルールで管理</li> </ul>                                    |

| (3) 新しい取り組みについて |   |
|-----------------|---|
| 病院（300床未満）      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ RCA（根本原因分析）の実施</li> <li>・ FMEA（失敗モードと影響解析）の実施</li> <li>・ バーコード管理システムから得られるデータの有効活用</li> <li>・ オーダリングシステム稼働</li> <li>・ 安全キャビネット（作業者の被爆防止）</li> <li>・ 抗癌剤のクリーンパッケージ据え付けの無菌調製室</li> <li>・ 夜勤を3人から4人体制へ増員</li> </ul> |
| 一般診療所（有床）       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーダリングシステムなど IT 化を計画中</li> <li>・ 防犯カメラの設置（設備会社と契約）</li> <li>・ 手すりの取り付け（廊下の手すり）</li> <li>・ 空気清浄機の導入</li> </ul>  |
| 一般診療所（無床）       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症患者を隔離するスペース確保を計画中</li> <li>・ 注射器・医療材料等の完全ディスプレイ化</li> </ul>   |
| 歯科診療所           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染の恐れがある患者のカルテを色分けした</li> <li>・ チェア間を約3m離しているが、さらに仕切り（カーテン）を設置</li> <li>・ 口腔外バキュームの導入、滅菌パックの開始</li> </ul>  |
| 保険薬局            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声データ認識による端末への入力</li> <li>・ 画像データから情報を抽出して端末への入力</li> <li>・ 患者情報を携帯できる情報端末装置一式を導入</li> <li>・ 薬局内におけるインシデント事例の報告制度の確立</li> <li>・ 電子薬歴の導入などによる患者データの共有化</li> </ul>   |

注1) RCA (Root Cause Analysis、根本原因分析)

事故事象を起点として、直接的な原因をたどることにより根本原因を特定する。分析結果は、事故の再発防止の立案等に役立てる。

注2) FMEA (Failure Mode and Effects Analysis、失敗モードと影響分析)

予想される失敗の状況や状態を列挙し、その発生頻度や影響度を評価する。分析結果は、効果的で効率的な事故防止対策の立案等に役立てる。